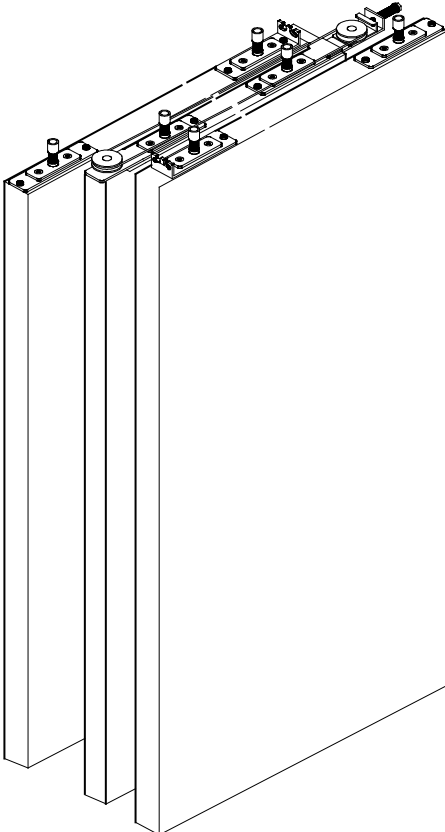
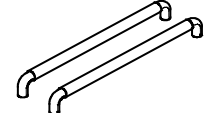
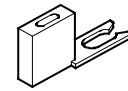
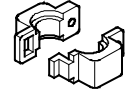
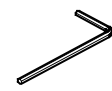


ハートフル スライドドアYレール(3連引違) 《扉施工用》

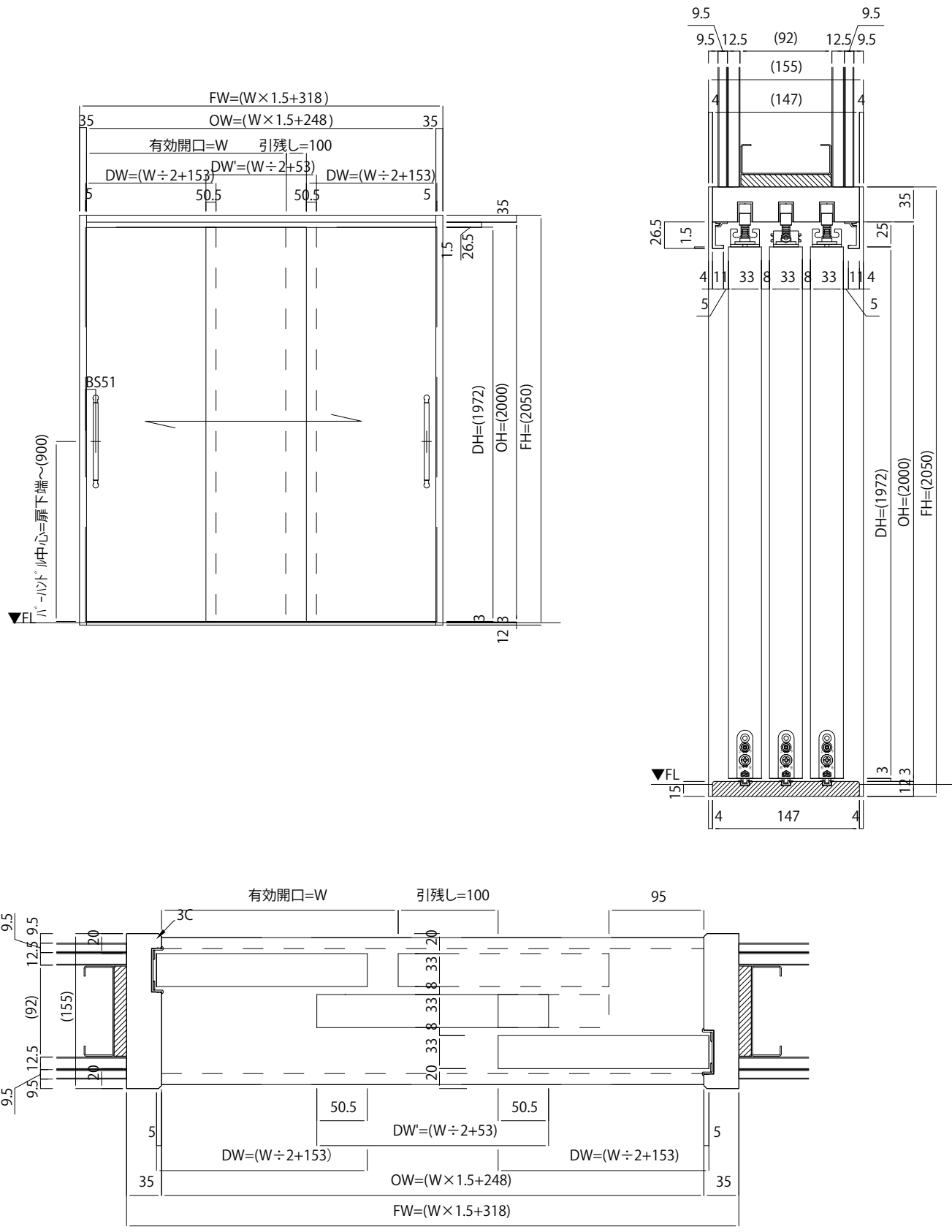
このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包			
扉本体 (3) 	バーハンドル (3)		
	ストッパー (2)		
	キャッチ (2)		
	外れ止め (4)		
	六角レンチ		

納まり図



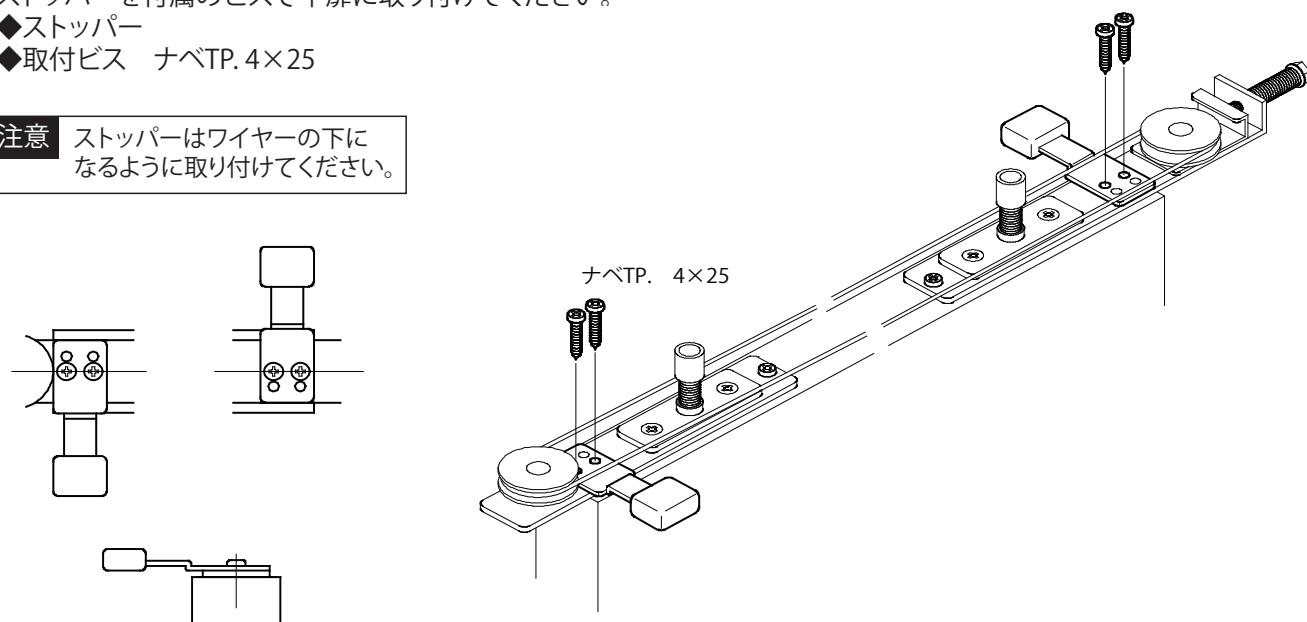
1. 部品の取付け

《ストッパーの取付け》

①ストッパーを付属のビスで中扉に取り付けてください。

- ◆ストッパー
- ◆取付ビス ナベTP. 4×25

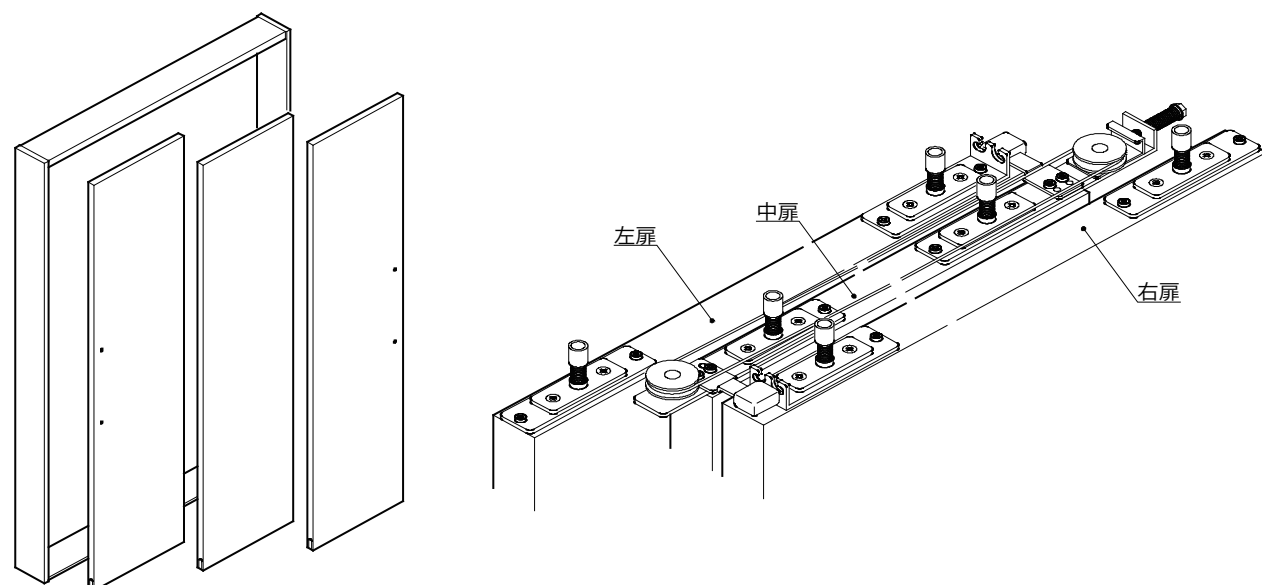
注意 ストッパーはワイヤーの下になるように取り付けてください。



2. 扉の吊込み

《吊込み》

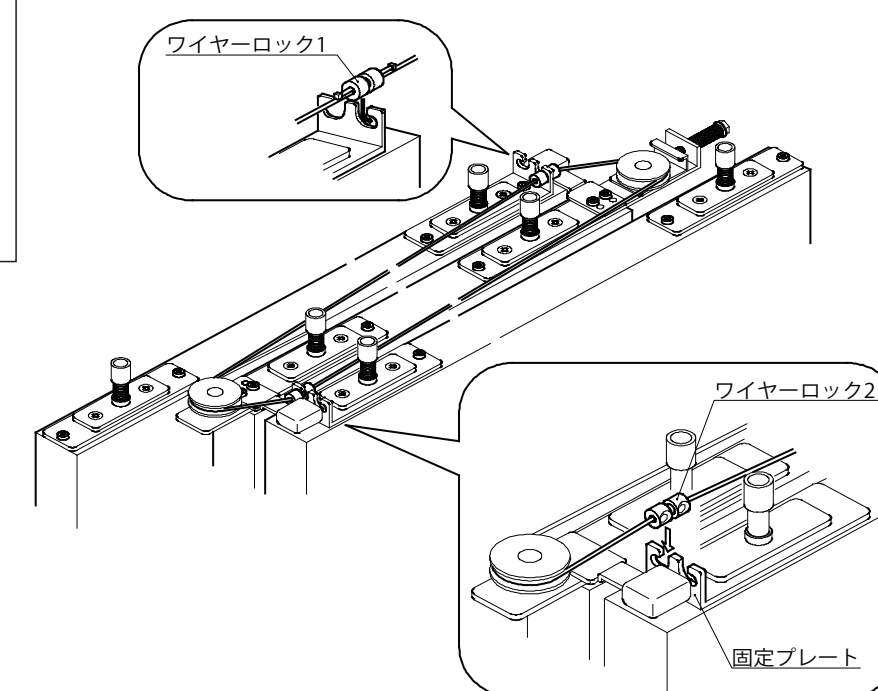
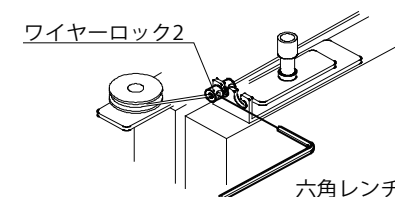
①扉を吊り込んでください。



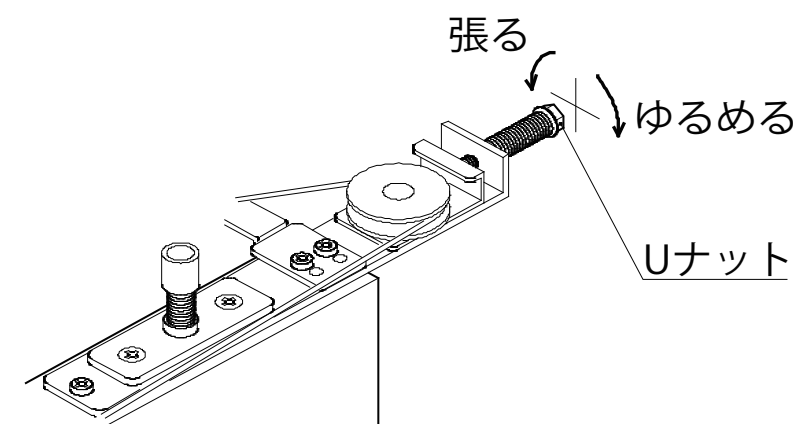
《ワイヤーの接続》

- ①中扉のワイヤーロック1を左扉の固定プレートに引っ掛けてください。
- ②ワイヤーロック2を右扉の固定プレートに引っ掛けてください。

注意 扉を3枚とも縦枠側に寄せ、全開状態にしたとき、右扉と中扉の戸尻がうまくそろわない場合は、ワイヤーロック2の固定ネジを六角レンチでゆるめ、固定位置を微調整してください。



③ワイヤーの張り具合を調整するときは、中扉の戸先側プレートにあるUナットを回して、滑車の位置を動かしてください。

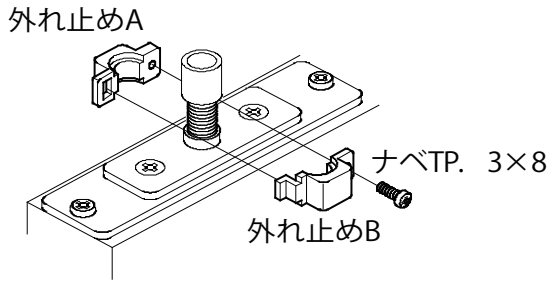


3. 部品の取付け

《外れ止めの取付け》

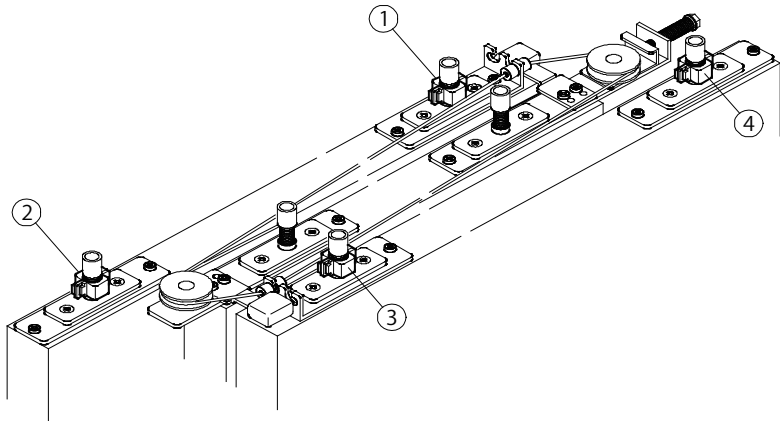
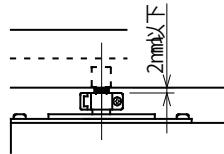
- ①左扉と右扉のガイドローラーに、外れ止めを取り付けてください。
- ◆外れ止め
 - ◆取付けビス ナベTP. 3×8

注意 必ず建付け調整が済んでから取り付けてください。



- ②外れ止めは、レールとの隙間が2mm以内になるように取り付けてください。

注意 隙間を2mmより大きくすると、戸車がYレールから脱輪する恐れがあります。

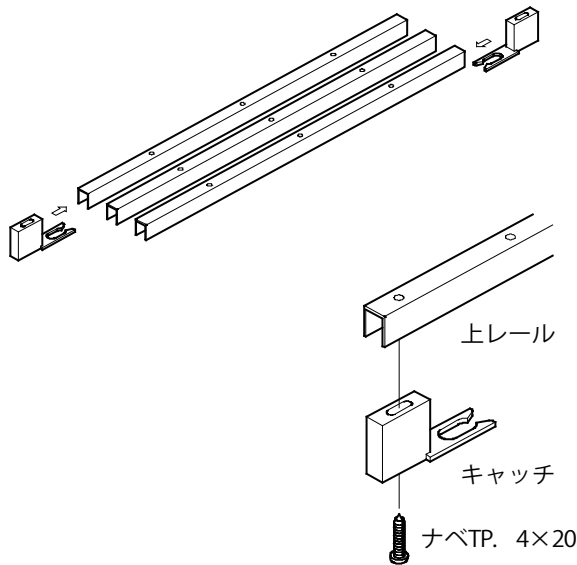


《キャッチの取付け》

- ①上レール内に、キャッチを付属のビスで取り付けてください。
- ◆キャッチ
 - ◆取付ビス ナベTP. 4×20

- ②キャッチは、右扉と左扉の戸先側の端へ寄せて取り付けてください。

- ③扉を閉めて、キャッチにガイドローラーの軸がかかっているか確認してください。



《ハンドルの取付け》

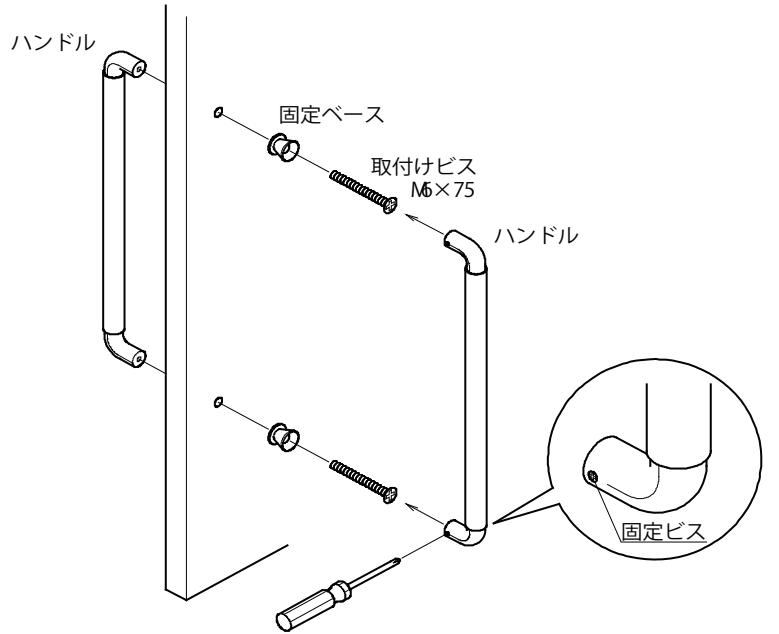
- ①扉にハンドル引手を取り付けます。

- ②取付ビスを固定ベースに挿入し、扉のリード穴から片側の引手をビス止めしてください。

- ③もう片方の引手を固定ベースにはめ込み、引手の側面にある固定ビスを回して固定してください。

- ◆ハンドル引手
- ◆固定ベース (引手付属品)
- ◆引手取付ビス 皿ボルト M6×75 (引手付属品)

注意 引手取付ビスの長さは、扉の厚さによって異なります。

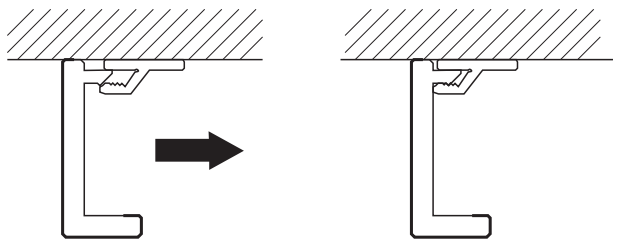


※鎌鉋などを取り付ける場合は、各部品に添付されている説明書をご覧ください。

《ハンガーカバーの取付け》

- ①ハンガーカバーを上枠の受け材にはめ込んでください。

- ◆ハンガーカバー



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

＜使用上のご注意＞

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。（扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。）
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。